

■ ■ 授業科目名	■ ■ 科目区分	
Communicative English IV A (7)		
	■ ■ 時間割コード	
■ ■ 講義題目	041442	
Communicative EnglishIV	■ ■ 年度	■ ■ 時間割
	2012	後期 木3
■ ■ 担当教員	■ ■ 単位数	■ ■ 教室
長井 克己[Nagai Katsumi]	1	
	■ ■ 対象年次及び学科	
	2～ 全学共通科目	

■ ■ 関連授業科目

主題科目B-2で提供される講義

■ ■ 履修推奨科目

Communicative English V/VI

■ ■ 学習時間

授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・課題）

■ ■ 授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、1年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

■ ■ 授業の目的

この授業は受講生のライティング能力の育成に重点を置いています。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

■ ■ 到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 辞書なしでも簡潔な英語は書くことができる。

■ ■ 成績評価の方法と基準

Quiz : 20% In-class effort : 20% Midterm exam : 30% Final exam : 30%

■ ■ 授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】

（１）リーディング，（２）語彙・辞書学習，（３）パタン練習，（４）ライティングの順に，毎週２ユニットずつ学習を進める。

【授業計画】

第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。

第2～7回：演習

第8回：中間テストとフォローアップ

第9～14回：演習

第15回：期末テストとフォローアップ

【自学自習に関するアドバイス】

- ・この授業は1単位科目である。
- ・予習復習とライティングの練習をしっかりとやってください。

■ ■ 教科書・参考書等

Komuro and Smillie. (2011). Write Better with Pattern. Tokyo: Kinseido.
(ISBN978-4-7647-39178)

■ ■ オフィスアワー

授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

■ ■ 履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第1回目の授業に出席してください。欠席回数が4回以上になった時点で単位不認定となります。遅刻を3回すると欠席1回となります。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。

■ ■ 参照ホームページ

■ ■ メールアドレス